

## エコスタディ 「町の自然探検」

### ■ プログラムのねらい

地域の自然を発見する体験活動をとおして、自分たちの住む町について愛着を深め、身近な自然を大切にすることを育てる。

■ 対象学年：小学校2年生

■ 関連教科：2年生 生活科「町大すき」

■ プログラムの概要：地域の自然を題材にした、体験型プログラムです。

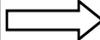


# 生活科に関連させたプログラムの活用例と発展例

生活科学習

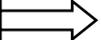
**もっと知りたい 町の大すき <2時間>**

探検に出かける計画を立てる。「町の大すき」を集める道具や、方法を考える。  
【学習活動】  
人や場所、物との関わりを深める方法を考える。



**「町大すき」探検 <3時間>**

体の諸感覚や、取材の道具を活用して探検する。  
【学習活動】  
自分の町への愛着を深めるための探検を実行する。



**伝えよう！町の宝物 <6時間>**

取材してきた「宝物」を集めて、人に知らせる工夫をする。自分達が伝えたい内容について、探検を振り返りまとめる。  
【学習活動】  
町の宝物について、人に伝える手立を考え実行する。

環境学習

**■ 町の自然探検**  
町の自然に気づく

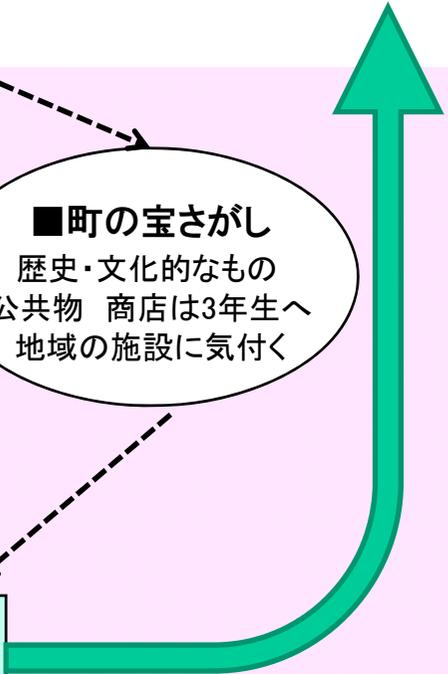


**■ 町の名人さがし**  
名人の知恵に気づく



**■ 町の宝さがし**  
歴史・文化的なもの  
公共物 商店は3年生へ  
地域の施設に気付く

**町の宝物マップ作り**



## ■ プログラムの準備

### ■ 概要

子どもたちが、それぞれの感性で地域の自然(命、自然物、自然現象等)を発見する探検をして、自分たちの住む町を再発見するプログラムです。地図作りをする方法と、**ビンゴゲーム**をする方法があります。

### ■ 準備

#### 1. 協力者へ依頼する

子どもたちが安全に校外活動をするためには、他の先生や保護者、地域のサポーターの方などの協力が必要です。地域の環境によっても違いますが、子ども5人に対して大人1人が引率できる程度に、協力をお願いしておきましょう。

〔協力者が集まらない場合〕  
無理をせず、公園や緑地など十分に安全が確保できる場所に限定して探検しましょう。

#### 2. 下見をしてコースを決める

車道と歩道が分離した場所や、交通量、人や自転車の往来が少ない安全なコースを設定しましょう。

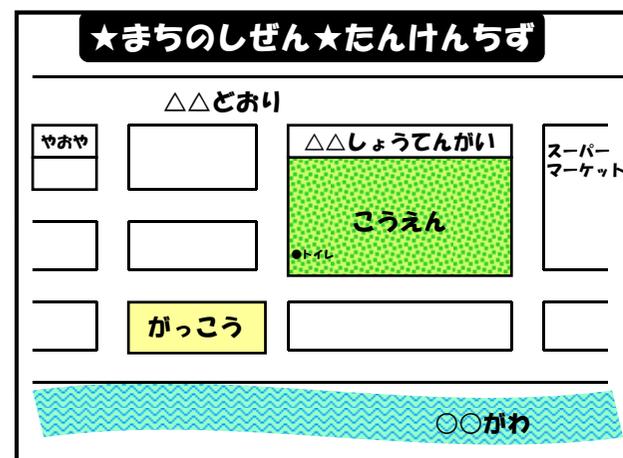
川や丘など、様々な環境を取り入れると、子どもたちの発見も広がります。また、トイレの場所も調べておきましょう。

#### 3. 地図または**ビンゴカード(次頁に例)**を作る

##### 【地図作りの場合】

- ・子どもたちが発見したことを記録する、A4紙程度の大きさの地図を人数分。
- ・まとめ、発表用の大地図(※)を1枚。

地図は、それほど詳細でなくても構いません。子どもたちが知っているような場所を、目印にしましょう。



##### ※大地図の作り方

- ・子ども用地図を4分割する。
- ・黒板に模造紙をはり、分割した地図をそれぞれOHP等で模造紙に映し出す。
- ・模造紙に映し出された地図を、マジック等でなぞる。
- ・4枚の模造紙をつなぎあわせる。

##### 【ビンゴゲームの場合】

**ビンゴカードのマスに書く、キーワードを決めます。**

#### 4. 画板と筆記用具・・・人数分。



こどもエコクラブ

## ★まちのしぜん★たんけん

☆どこで、どんなしぜんをみつけたのかを、ちずにかいたりきろくしたりしよう！

☆みつけたしぜんのなかで、ほかのひとにいちばんおしえてあげたいものに、○をつけよう！

# ★まちのしぜん★たんけんビンゴ!



## こどもエコクラブ

- ☆みつけたものに、○をつけよう!
- ☆たてか、よこか、ななめに3つの○がならんだらビンゴ!だよ。
- ☆いくつのビンゴ!ができるかな?

	せんせい、 はっぴょうするよ!	

(※マスの中のキーワードは、場所、季節に合わせて決めてください。)

## プログラムの進め方

### ■ 進め方の手順

#### 〔準備〕

地図(または**ビンゴカード**)、画板を、各人が班、グループに各1枚くばる。

#### 1. 導入…(例)

- ・子どもたちが知っている町の自然について聞く。
- ・今回、発見するテーマ(自然)の定義をする。  
(例)人間が作った以外のもの。

#### 2. 協力者の紹介と、諸注意

- ・協力者の紹介をする。
- ・探検についての、諸注意をする。

### ■ 支援の言葉(参考)

①みなさんは、私たちが住んでいるこの町に、どのような自然があるか、知っていますか?…(投げかけ)  
いろいろ、知っていますね。でも、みんなで探せば、もっといろいろな自然があるかもしれません。そこで、きょうは、私たちの町にはどのような自然があるのか、みんなで見つける探検に行きたいと思います。

きょう、見つける自然は、鳥や虫や木や花でもいいですし、川の音や風など、人間が作ったもの以外ならば何でもかまいません。みなさんが、「私たちの町には、こんな自然があるよ」と、ほかの人に教えたい自然を見つけてきてください

②きょうは、みなさんが安全に探検することができるように、たくさんの方々に協力していただきますので、ご紹介しましょう。…(紹介)

次に、きょうの探検で、絶対に守らなければならない約束についてお話しします。

- ①道路では、自動車や自転車に注意すること。
- ②道路では、走ったりふざけたりしないこと。
- ③ほかの人の迷惑にならないようにすること。
- ④大人の方の言うことを、よく聞くこと。
- ⑤気分が悪くなったり、トイレに行きたくなったら大人の方の言うこと。

### 3. やり方の説明

- ・地図(または**ビンゴカード**)を見せる。
- ・シートの書き方を説明する。

### 4. 実施

- ・地図(または**ビンゴカード**)、画板、筆記用具を持たせる。

※校外での活動は、班、グループで活動します。

地図(またはビンゴカード)の記入は、班、グループで1枚を書かせてもいいですし、各人に書かせてもいいでしょう。

### 5. 発表

#### 【地図作りの場合】

- ・子どもたちに、各人が見つけた自然の中で、ほかの人に最も教えたいもの1つを選ばせ、その理由とどこにあったのかを発表させる。
- ・発表した自然を、全員で大地図に落とし込む。

#### 【ビンゴゲームの場合】

- ・**ビンゴカードのスケッチと、どのようなものを見つけたのかを発表させる。**

③それでは、自然の見つけ方を説明します。自然は、目に見えるものだけではありません。鳥の声や花の匂いや風もそうですから、体のいろいろな部分を使って見つけましょう。

そして、見つけたら、何をどこで見つけたのかを、地図に書いてください。たくさん、書いていいですよ。でも、その中でひとつだけ、ほかの人に一番教えたいと思ったものには、○をつけておいてください。あとで、発表してもらいます。

#### 【ビンゴゲームの場合】

③それでは、自然の見つけ方を説明します。きょうは、このビンゴカードを使って、自然を見つけてます。ビンゴカードのマスの中に書いてある自然を、見つけましょう。見つけたら、○をつけてください。縦か横か斜めで、○が3つ並んだらビンゴ！です。

マスに書いてあるのは、目に見えるものだけではありません。鳥の声や花の匂いや風などもありますから、体のいろいろな部分を使って見つけましょう。

また、もし見つけたものでスケッチができるものがあったら、マスの中に見つけたものの絵を描いてください。あとで、発表してもらいます。

■**まとめ**:みんなでさがしてみたら、私たちの町にはいろいろな自然がたくさんありましたね。これらは、私たちの町の大切な宝物ですから、大事にしましょう。また、もっとよく探せば、ほかにも見つけられるかもしれません。もし、見つけた人がいたら、みんなに教えてあげてください。

## 関連する情報

探検する場所はもちろんですが、季節によっても子どもたちが発見するものが変わります。なかなか見つけることができない子どもには、少しヒントをあげるといいかもしれません。

### ■ 春

動植物の活動が活発になる季節なので、たくさんの発見が期待できます。また、開花によって、花の香などからも自然を感じられます。天候の点でも、校外活動に適した季節と言えるでしょう。



ツバメの巣



春の野草



オタマジャクシ

### ■ 夏

昆虫類の活動が、活発です。都市部でも、公園や植え込みで様々な昆虫が見られます。暑いので、校外活動では日射病、熱中症等の対策を十分にしておきましょう。



トンボ



チョウ



バッタ

### ■ 秋

生き物たちの痕跡や、この季節ならではの形態を見ることが出来ます。草むらに入ると、洋服にいろいろな種がついて、新しい命の準備が整っていることがわかります。落ち葉を踏む音も、この季節らしい感覚です。



手袋についた種



カマキリの卵



セミの抜け殻

### ■ 冬

木々が葉を落とすので、鳥を見つけやすくなります。地域によっては冬鳥も渡ってきますので、種類も多くなります。植物では冬芽やロゼットが見られます。また、生き物以外でも、つららや霜柱など、自然現象を発見するのもおもしろいでしょう。



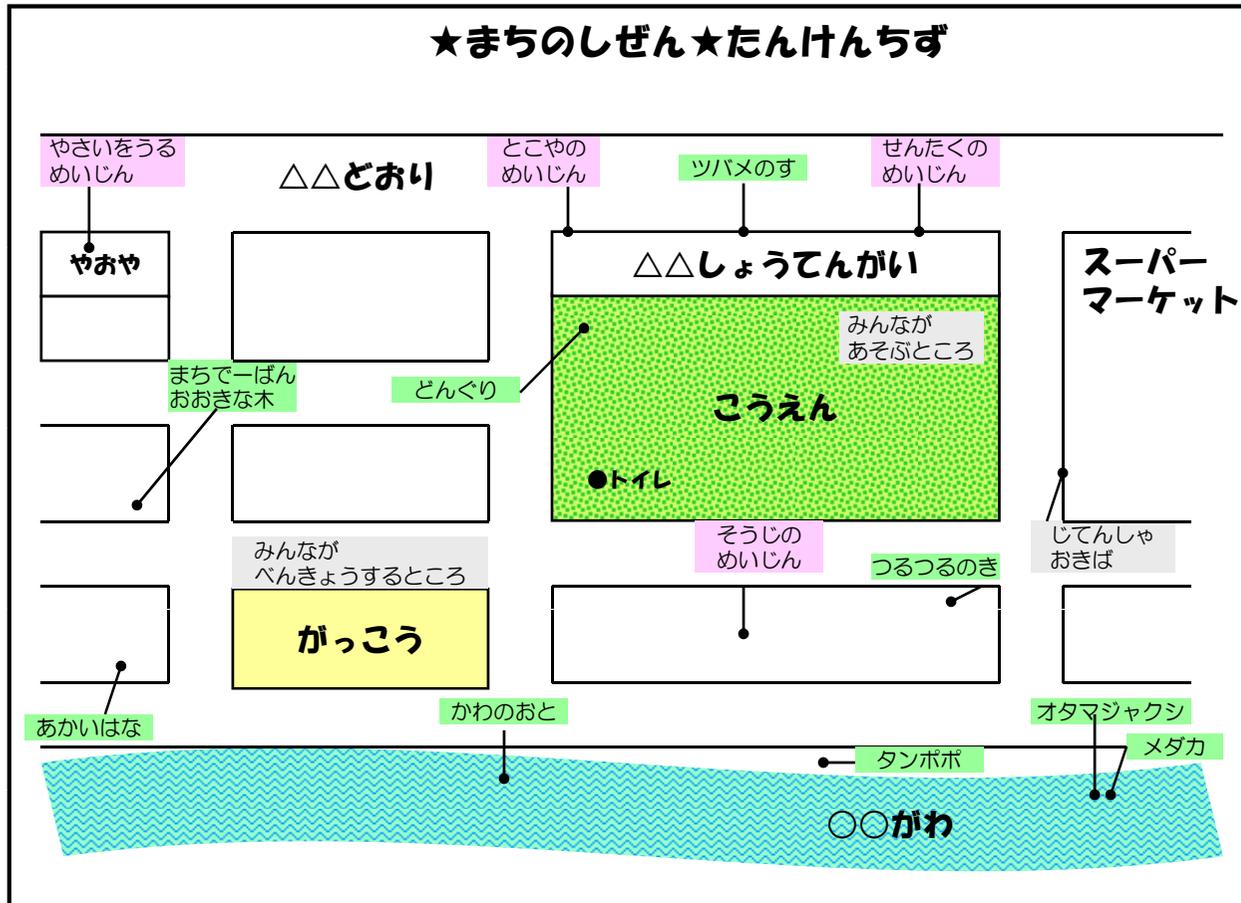
野鳥



カモの群れ

## プログラムの発展 「町の宝物マップ作り」

本プログラムでは、自分たちの住んでいる町の宝物として、「自然」をテーマにした探検をしましたが、発展として「人」や「場所(公共施設等)」などをテーマにした探検を重ねることで、子どもたちに自分の町に対する理解を深めさせ、愛着をもたせることができます。また、高学年ではこれらの手法を基礎として「地域のハザードマップ(安全地図)作り」に発展させることもできます。



### 「町の宝物マップ」発展例

#### ■ テーマ設定

- ・町の名人  
地域の商店やお年寄りに、インタビューに協力してもらったりすることで、地域とのコミュニケーションが深まり、子どもたちも地域の一員であることを自覚することができます。
- ・町のエコポイント  
リサイクル回収ボックスや太陽光発電の電灯や時計、道路標識、省エネルギー型信号機など、環境保全に関連するテーマ設定では、町の環境に対する取り組みを知ることができます。

協力: 杉並区立杉並第三小学校  
主幹 吉田佳子